



平成24年(ワ)第3671号, 平成25年(ワ)第3946号, 平成27年
(ワ)第287号, 平成28年(ワ)第79号, 平成29年(ワ)第408号,
平成30年(ワ)第878号

大飯原子力発電所運転差止等請求事件

原告 竹本修三 外3313名

被告 関西電力株式会社 外1名

証 拠 説 明 書

(丙330~336号証)

令和2年12月1日

京都地方裁判所第6民事部合議はB係 御中

被告訴訟代理人 弁護士 小 原 正 敏



弁護士 田 中 宏



弁護士 西 出 智 幸



弁護士 神 原 浩






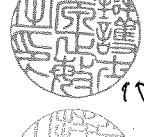




弁護士 原 井 大 介



弁護士 森 拓 也



弁護士	辰	田		淳	
弁護士	畑	井	雅	史	
弁護士	坂	井	俊	介	
弁護士	山	内	喜	明	
弁護士	谷		健 太	郎	
弁護士	酒	見	康	史	
弁護士	中	室		祐	
弁護士	持	田	陽	一	

号証	標 目 (原本・写しの別)		作成年月日	作成者	立 証 趣 旨
丙 330	決定（抜粋） （大阪高等裁判 所：令和元年（ラ） 第550号）	写し	R2. 1. 30	大阪高等裁判 所書記官	大阪高等裁判所が令和元年 （ラ）第550号仮処分命令申立 却下決定に対する抗告事件の 決定内容 （なお、上記決定のうち、当 事者目録（24頁）は除いてい る。）
丙 331	確定証明書	写し	R2. 2. 6	大阪高等裁判 所書記官	上記決定（丙330）が確定して いること
丙 332	波形インバージョ ン解析による震源 断層モデルのトリ ミング方法に関す る考察	写し	H30	宮腰研， 染井一 寛， 郭雨佳	波形インバージョン解析にお いては，多くの場合，余震分 布の広がり適切に考慮して その全体を取り囲むように断 層面が設定されるため，設定 断層面がやや過大となる可能 性があることから，実質的な 震源断層面を精度良く推定す る目的で，設定断層面の縁辺 部にすべり量平均値の0.3倍 未満の領域がある場合に当該 領域をトリミングする手法で ある「Somervilleの規範」が 利用されていること
丙 333	経験的グリーン関 数法を用いた震源 のモデル化と地盤 の非線形性を考慮 した地震動評価	写し	H23. 7	池田隆明，釜江 克宏，入倉孝次 郎	経験的グリーン関数法には， 地盤の強い非線形性が生じる 軟弱なサイトでは合成波形が 過大評価となってしまう特徴 があることが知られているこ と

丙 334	KiK-net 益城における2016年熊本地震の記録に基づく表層地盤の非線形増幅特性	写し	H29	栗田哲史	2016年4月16日に発生した熊本地震（以下、「2016年熊本地震」という。）の震源断層に近い観測点においては、前震及び本震の際に表層地盤に非線形性の影響が生じていたとされていること
丙 335 の1	Source rupture processes of the foreshock and mainshock in the 2016 Kumamoto earthquake sequence estimated from the kinematic waveform inversion of strong motion data	写し	H28. 8	浅野公之, 岩田知孝	2016年熊本地震の前震と本震に関して、強震観測記録を用いて行ったインバージョン解析の内容
丙 335 の2	上記訳文	写し	R2. 11	被告関西電力株式会社	
丙 336	「レシピ」の訂正・微修正・補足についての事務局案	写し	H28. 11. 15	地震調査研究推進本部事務局	平成28年12月修正の文部科学省の地震調査研究推進本部の「震源断層を特定した地震の強震動予測手法（『レシピ』）」（丙180）に採用されるに至った文案の趣旨